

歓迎ごあいさつ



八田 誠

金沢市経済局長

金沢市経済局長の八田と申します。今日は「国際観光コンベンションフォーラム 2015 in 金沢」が盛会になりますことをまずお祈り申し上げます。そして全国各地から金沢にお越しいただきました皆様を大歓迎申し上げます。本当にありがとうございます。

国際観光コンベンションフォーラムは今回が8回目ということで、各地域の実務を担当する方々、現場の第一線でがんばっておられる方々が生の意見を交わす場だとお聞きしており、大変意義深いフォーラムだと感じており、ここ金沢で開催いただくことに感謝申し上げます。

ご案内いただいたとおり、金沢という街はもう430年くらい戦争の被害に遭っていないということから、昔の街並み、当時の区割りなどがそのまま全部残っています。加えて兼六園や、大正時代に建てられ、かつて石川県庁だったこの建物のように、古い建物が残っています。また、市民の伝統的な生活文化、素囃や能、お茶やお花、工芸の方では加賀友禅や漆、九谷などといったものが残っています。さらには日本海の新鮮な食材を活かした食文化も残っています。一方で、この建物の正面にある21世紀美術館や金沢駅のもてなしドームのような、新しいものにもずっとチャレンジを続けてきました。伝統と創造、この二つをうまく調和し発信していく。このようにして我々はまちづくりを精一杯頑張ってきたところでございます。

皆様の中ではもっと多くの観光客がいらっしゃる地域もあると思いますが、金沢でもお陰様をもちまして、昨年は約800万人の方にお越しいただきました。藤田幹事長が言われたように、外国人の方が昨年あたりから非常に増えています。伸び率では日本全国では東南アジアが高いようですが、金沢の特徴としては欧米からの観光客の伸び率が高くなっていて、日本の伝統的なところが評価されているかと思います。加えて、3月14日には北陸新幹線が東京から金沢まで参ります。最速で2時間28分になります。現在は4時間くらいかかりますので、約1時間半の短縮、中京圏、近畿圏からも2時間半と、どこからでもアクセスしやすい場所になりますので、こうした強みをMICEで活かしていければと思います。

日本は今、訪日外国人観光客2,000万人を目標に頑張っていますが、昨年1,300万人を超えました。金沢でも今年、兼六園の入場者数が20万人を超えて、過去最高となっております。後程、ドラゴンルート推進協議会の多田さんからもお話があるかと思いますが、やはりインバウンドが重要なテーマであり、それに必要なキーワードは広域連携と考えております。多田さんのお話などを聞きつつ、お集まりいただいたみなさんと色々な形で意見交換をすることで、また広域連携の輪が広がればこの上ないことと思っております。今は夜になると兼六園がライトアップされてちょうど良い時期となっております。美味しい食事の後は兼六園のライトアップも楽しんでいただき、さらに金沢の街も楽しんでいただければと思います。

結びになりますが、このフォーラム金沢での開催のためにご尽力いただきました皆様に感謝を申し上げるとともに、フォーラムが盛会であり、楽しく有意義なものとなることを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本日は皆様ようこそ金沢へ、どうもありがとうございました。